

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 6/30 第13号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

第2回トークイン双ヶ丘

6月24日（金）に今年度2か回目の「トークイン双ヶ丘」を実施しました。第2回まとめテスト終了後でしたので、テスト勉強の疲れが出ていないかなと心配しましたが、どの学年の発表もしっかりしていて、聴いている生徒も集中して聴けていたので安心しました。第2回目のテーマは、「校外学習を振り返って」「チャレンジ体験を終えて」「修学旅行の思い出」でした。第3回目を楽しみにしています。

代表生徒の発表の一部を紹介します。

1年3組

「校外学習を通して協力することの大切さを改めて感じました。話す機会もたくさんあって、もっとクラスの人々と仲良くなれたと思います。」

※飯盒炊さんや大縄跳びで団結できたことを話しました。



1年3組

「本番は、あせりながらもみんなと、声をかけ合って失敗した人たちをせめずにできたことがとてもうれしかったです。」

※大縄跳びでの感動を話しました。



2年2組

「大変なこともあるけれどその先に笑顔がありました。先生と生徒の笑顔を見ているときなぜかわからないけど、自分まで笑顔になりました。」

※出身小学校でのチャレンジ体験の様子を話しました。



2年2組

「どんな地道で基礎的な作業でも、おこたれば大変なことになる。基礎が基盤となって成功につながっているのだろう。」

※チャレンジ体験を通して、責任感と向上心を学んだことを話しました。



3年2組

「僕の修学旅行は、雨と思っていたが3日間とも晴れて、とてもいい天気恵まれた。……これからは自分で考えて行動することも大切だと思った。」

※常識を疑ってみる。他人に流されずに自分の意見をもつことの大切さを話しました。



3年2組

「私は修学旅行で素敵なものを学んだ。それは「思いやり」が笑顔の呪文だということ。私はこの呪文をこれからも忘れない。そして、この中学校生活最後の年を笑顔で終わらせたい」

※修学旅行で思いやりの大切さを実感したことを話しました。



3年7組

「おじい、おばあの話に耳を傾けました。島の自然を守るためにいろいろな取組をしていること。そのほか島の生活の話も聞きました。」

※自然は、放っておいてはだめということと人間が自然を守る気持ちを持つことが大切さを話しました。

